

令和5年度伊豆の国市環境審議会（第1回）

議事録

開催日時	令和5年8月22日（火） 13:30~15:30
開催場所	伊豆の国市大仁庁舎2階 第1・第2会議室
出席者 (委員)	小嶋会長、服部委員、神田委員、児玉委員、瀬本委員、竹口委員、近田委員、 大沢委員、鈴木委員
配布資料	・次第 ・第2次伊豆の国市環境基本計画（案） 2023(令和5)年8月
<p>1 委嘱式</p> <p>(1)市民環境部長あいさつ</p> <p>高橋市民環境部長よりあいさつ</p> <p>(2)委嘱状の交付</p> <p>伊豆の国市農業委員会会長の交代に伴う鈴木委員への委嘱状の交付</p> <p>2 環境審議会</p> <p>(1)開会</p> <p>事務局の進行により開会</p> <p>(2)会長あいさつ</p> <p>小嶋会長よりあいさつ</p>	

(3)議事

第2次伊豆の国市環境基本計画について

①前回までの補足と「第3章 望ましい環境像」について

②「第4章 取り組みの推進」について

③「第6章 計画推進のしくみ」について

議事①②③に関して、事務局より配布資料の説明を行った上で、委員に対して発言を求めた。

※委員発言要旨、市からの回答は別紙のとおり

(4)その他

次回会議は令和5年10月19日に開催する。

(5)閉会

## 令和5年度伊豆の国市環境審議会（第1回）に関する委員意見のとりまとめ

### 1・開催日時・場所

日時：令和5年8月22日（火） 13：30～15：30

場所：伊豆の国市大仁庁舎2階 第1・第2会議室

### 2・委員意見一覧「第2次伊豆の国市環境基本計画について」

#### ①前回までの補足と「第3章 望ましい環境像」について

	委員発言要旨	回答
1	「望ましい環境像」と「目指す将来像」は、同じ言葉を意味しているか。	表現の混在があったため表記を統一する。
2	「望ましい将来像」に、「脱炭素・循環型社会」が入れてあるが、「自然共生社会」を入れなかったのはなぜか？「美しい山河」と書いてあるので伊豆の国市は「自然共生社会」だと思ったが、脱炭素と循環型を中心に組み組んでいくということか。	自然共生社会の実現と併せて脱炭素社会・循環型社会の実現も目指していくものとして、望ましい環境像に示したものである。
3	「美しい山河」という言葉は新しい将来像としてよいと思う。	る。
4	金融機関と民間企業でビジネスマッチングをして、データをアップロードすると年間何CO <sub>2</sub> 排出しかたがわかるシステムがあり、各企業の年間CO <sub>2</sub> 排出量を減らした事例がある。この事例のようにマッチングすれば、各企業が削減目標を決めて、排出量を減らせると思う。漠然と排出量を減らすのでは	事業者の取り組み項目への追加を検討する。

	なく、個々の目標を定めたほうがよいと思う。	
5	商工会議所なども会員に向けて、脱炭素の見える化を進めているが、市の計画で各会社の目標を定めるのは難しいと考えられ、産業部門などの部門別に定めるのだと思う。保険会社などでも企業向けの CO <sub>2</sub> 排出のサービスは取り組まれていると思う。	

②「第4章 取り組みの推進」について

	委員発言要旨	回答
1	公共施設にクールシェアの場として提供というのはどういうことか。公共施設に涼みにきてもらうということか。	図書館などの公共施設を積極的に利用してもらい、家庭での冷暖房の使用削減つながっていくことを期待したものである。
2	新エネの補助金を出すのは市か。	市が実施している太陽光発電設備設置等への補助金である。
3	公共施設を新たに整備するというのは、「新たに」とはどういうことか。公共施設を新たにつくらなければやらないのか。新設でなくてもやるべきと思うが、新しく家を建てるのはあまりないので、既設の改修が求められる。	新たに施設を整備する際には、太陽光発電設備の導入を前提として整備を進めていくことを想定し

	委員発言要旨	回答
		た表現であるが、新設に限らず、既設の改修を想定した表現に修正する。
4	公共施設の結節機能の向上は大切なこと。どのくらい働きかけをするのか。	自主運行バスについて、鉄道とバスの連結機能を発展させていくものである。
5	新エネルギー機器等導入補助金の次世代自動車の補助は、市の補助か。	次世代自動車の補助金については、今年度から新たに開始した市の補助金である。
6	住宅・事業所についても新設となっているが、既設のものも改修も求められる。	既設の改修も想定した表現に修正する。
7	事業者による環境マネジメントシステムを導入してもらうために、市が何をするのかという部分があると思う。何をしたら市内の事業者が環境マネジメントシステムを取り入れるか、何かインセンティブがあるとよい。	入札参加者の格付などにあたり、環境マネジメントシステムの認証取得に関する評点を加点している。
8	ごみの排出量については、容器リサイクル法に基づく容器包装もすべて入って 965g か。全体が減るのは難しいと思うが、それらを減らすことによって元が減るのはわかるが、普通の	資源ごみ（容器包装、紙類等）も含んだごみの総量である。

	委員発言要旨	回答
	市民が生活すると出てくるごみは変わらないと思う。その部分から容り法の容器包装と製品プラスチック、古紙も減らすと清掃工場に入ってくるごみが減ると思う。一般廃棄物の基本計画があると思うが、どうなっているか。ごみの排出量が減るのは難しいと思う。	一般廃棄物処理基本計画においては、可燃ごみに含まれる紙類等を資源ごみとして出してもらうことによるリサイクル率の向上、食品ロスの削減等によるごみの減量を目指している。
7	「自然共生社会の実現」について、森林所有者からの経営管理権の受託による森林整備を推進するというのは、市が無料で受けるのか。	森林所有者への意向調査により受託を受けた森林について、森林環境贈与税を活用して市が整備を進めていく。
8	野焼きはなくなっているのではないか。	野焼きについては、その多くが例外的な扱いとなっている農業残渣の焼却に対する苦情などに対応している状況である。家庭ごみの焼却に対する苦情はほとんどない状況である。

	委員発言要旨	回答
9	工事や建設作業においては、もう環境配慮型の機器しかない ので、ここに環境配慮型の機器を推進すると書いても意味が ない。	一般的に普及しているも のとして削除を検討す る。
10	空家や空地の対策は、条例等でしなくてはいいのか。	空家や空地の所有者に対 し、雑草等の適切な管理 を促している。
11	環境教育では、環境人材の育成を考えたほうがよいと思う。	大人を対象とした講座等 により、環境への関心を 高めていく。
12	環境美化の日は年に何回か。長岡地区は毎月行っているが、 回数を増やすようにしたほうがよい。市民一人ひとりが環境 活動に参加する一番身近なもの。市民が環境問題に関心を持 てるように進めてもらえればよいと思う。すべて 52 地区 (100%) の地区の実施というのはよいことだと思う。	年 3 回設定しており、地 域の清掃活動をお願いし ている。
13	省エネで室温を 28℃に設定することが、最近はややかされて いるような気がするので、しっかりとアピールするとよい。	適正な室温設定を改めて 周知していく。
14	再生可能エネルギーは太陽光発電しかないのか。水もあるし、 地熱もあると思うが、郷土としての資源があるのにそういう 話は出てこないがあきらめたのか。それともまだある話なの か。	まずは、省エネ活動に取 り組んでもらい、一般家 庭にも普及が進み取り組 みやすい太陽光発電を中 心に進めていく。

	委員発言要旨	回答
15	隣接市町との共同体制を計画の中でうたっていないが、盛り込んでいくか。	近隣市町との協力は必要である。  狩野川の環境保全を目的に近隣市町で連携した活動も行われており、そのような取り組みを追加する。
16	脱炭素社会という言葉が出てきているので、第4章の基本計画1については、事業者に向けてのゼロカーボン、事業活動におけるCO <sub>2</sub> 削減を目指すというような、大きな括りの取り組みがあってもよいのではないか。	脱炭素に向けた取り組みについて、市民・事業者の取り組みの中に追加をしていく。
17	P44 は水辺の環境の保全や活用に関する指標は、活動数ではなく、活動の種類ではないか。あと、P43 のマイバックはマイバッグに修正してほしい。	表現、誤記を修正する。
18	望ましい将来像、「美しい山河」はトップの考えが込められていると感じるが、環境問題もトップの人の考えが込められていないといけないので、今後市民にアピールして欲しい。	計画のキャッチフレーズとしてPRしていく。
19	環境問題は経済性が合わないものなので、少し疑問がある。事業ベースに載らないとやらないのであれば環境問題は解決できない。こういう場所なので、伊豆の国市としては一番やりやすい太陽光発電を頑張りましょうという進め方であれば	まずは、太陽光発電を中心に、今取り組めるものを推進していく。

	委員発言要旨	回答
	わかる。	
20	2050年のカーボンニュートラルも加味してということであれば、すべて再生可能エネルギーにもっていかないと実現できないが、電気を買うという考えは入ってきていないのか。再生可能エネルギー施設の整備により達成を見込んでいるのか。	まずは省エネルギーによる削減、再生可能エネルギー設備の導入による削減を目指している。

③「第6章 計画推進のしくみ」について

	委員発言要旨	回答
1	環境審議会について、「調査審議」という言葉は聞いたことがないが。	条例で「調査審議」という言葉が使用されている。
2	計画の進捗管理は、自分たちでチェックして、自分で評価するということか。基本的な評価を自分で評価するのではなく、環境審議会で確認評価するべきではないか。	庁内内部の中で役割分担において進めていく。
3	ISOのPDCAのチェック体制については、自分たちで回っているか内部審査した上で、外部審査の二段階のチェックなので、自分のところでチェックするのではなく、第三者という考えも入れたほうがよい。	
4	環境審議会でも現地視察を行えるとよい。環境基本計画を市	計画の市民への効果的な

	委員発言要旨	回答
	<p>民に分かっていただくため、全自治会に配布して大きくして貼ってもらう。子供たちに伊豆の国市はこんな町であるということができるようになるとうい。高校も市内に3つもあり、交通も便利で首都圏にもすぐ行けてしまう。自治会でも環境美化活動をやっている。庁舎の前にペットボトルが捨ててあった。きれいになっていればごみは捨てない。環境美化活動を前提として地域が抱えている環境問題を解決していく。環境教育は小中高の先生にも前向きに協力してもらう。先生に誇りをもってもらう伊豆の国市にしてほしい。</p>	<p>周知方法を検討していく。</p>
5	<p>言葉の統一で、計画の進行管理と進捗管理を統一するとよい。</p>	<p>表記を統一する。</p>
6	<p>伊豆の国市としての目玉があるとよい。特色をどこまで出せるかがあるが、そういうものを作ったらどうか。ここに出ている取り組みでもよいと思う。</p>	<p>特色を出せるものを検討する。</p>
7	<p>伊豆の国らしさ、伊豆の国市らしい環境問題、その情報を市内外に発信する。伊豆長岡とか多くの観光客もいるし、立派な庭園付きのホテルもある。温泉、グルメなどもよいが、環境というキーワードで帰っていただけるとよい。そこから、県外に評判を広めていけるとよい。</p>	
8	<p>ZEH・ZEB などについては、コラム欄で用語解説をするとよい。</p>	<p>用語解説を追加する。</p>
9	<p>民間のリサイクル業者の回収量は計っているのか。</p>	<p>行政の回収量だけで、民</p>

	委員発言要旨	回答
		間のリサイクル業者の回収量は把握されていない。
10	他の市町のリサイクル率はどのくらいか。もう少し高められないかという気がする。	リサイクル率は県内では高い方である。
10	新しい清掃工場ができて、プラスチックを燃やすようにした。ごみ発電をしているので、それもリサイクルともいえる。リサイクル率はなかなか指標としては難しいが、入れるなら説明を入れないとわかりにくい。	プラスチック類のごみ発電としてはリサイクル率に含めていない。
11	焼却灰の再利用は考えなかったのか。	焼却灰は市内の最終処分場で埋め立てている。今後どのようにしていくかを検討していく。
12	農業委員会でも、農地、荒廃農地がどうなっているか調べている。荒廃農地も増え、農地を手放す人も増え、来年7月に農地中間管理機構が管理するようになる。農地を有効に活用したいために、どういう農地なのか農業政策の方針を立てることになった。  「花育(はないく)」というのがあり、ボランティアで幼稚園に花育を行っている。今は8つくらいの幼稚園から依頼がある。小学校はなかなか難しい。	

	委員発言要旨	回答
	<p>牛に与える外国産の堆肥があり、それを使うとトマトに薬害が出た。実際に使ってみて食品残渣物をうまく分けるなど、農業委員会でも話し合いをしているので、わからないことがあれば聞いてほしい。</p>	